

## 平成20年度の総合水産試験場の取り組みについて

長崎県総合水産試験場  
企画開発推進室

### はじめに

総合水産試験場は、平成9年の供用開始以来、今年で12年目を迎えました。皆様には、当水試の試験研究の推進に多大のご支援とご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

当試験場においては、「長崎県水産業振興基本計画（後期5か年計画）」に基づいて実施される各種施策の実現に向け、必要な試験研究及び技術開発を計画的に進めています。

また、「開かれた試験場」として、加工施設などの各種設備・機器を広く開放し、水産業界や県民の要望に即した試験研究や技術指導を行っています。

### 分野別の研究事業件数と事業費

(研究分野)	(件数)	(万円)
○水産資源・漁業技術	3	963
○栽培漁業	2	734
○種苗生産技術開発	3	4,013
○沿岸環境保全	5	2,527
○養殖漁業経営安定	2	1,244
○水産加工	3	737
○その他		
(プロジェクト研究等)	3	2,292
<b>合計</b>	<b>21</b>	<b>12,510</b>

### 主な事業と新規事業の紹介

(事業費 万円)

#### 1 地域型資源管理予測技術開発試験

192

長崎県周辺海域における地域特産種の資源の適正な利用を目的として、タチウオ、アマダイ等の魚種を対象に漁獲実態や生態等の基礎資料を収集し、資源評価の手法開発に取り組んでいます。

#### 2 沿岸漁場開発調査

465

沿岸漁業の振興と経営の安定に資するため、定置網漁場の海底地形、流況等の診断調査やトビウオ船びき網漁具の開発、天然礁海底地形調査など基礎的試験・研究などに取り組んでいます。

#### 3 沿岸性高級魚類栽培技術展開事業

526

本県沿岸に分布する高級魚類（ホシガレイ、オニオコゼ、アカアマダイ、クエ等）について、資源の増大と持続的な利用を図るため、放流技術と資源管理手法の開発に取り組んでいます。

#### 4 最適放流手法を用いた東シナ海トラフグ資源への添加技術の高度化

1,827

東シナ海トラフグ資源の効果的な増大を図るため、有明海から瀬戸内海にかけて複数

の産卵場に健全な最適サイズの種苗を放流し、広域の連携調査によりその効果について解明し、放流数や放流場所の組合せに基づいた添加技術開発に取り組んでいます。

## 5 第2期魚介類種苗量産技術開発研究事業

2, 673

種苗量産技術開発センターの大規模飼育施設を利用して、新たな魚種（アカアマダイ、クマサルボウ）の種苗を安定生産・量産化する技術を開発し、県内の種苗生産機関へ技術移転することにより、種苗量産技術の実用化を目指しています。

## 6 重要貝類種苗生産基盤技術開発（新規）

325

養殖マガキのへい死問題に対応するため、成熟との関連など疫学・組織病理学的な調査を実施し、付着生物の抑制・阻止等養殖技術の向上を図ります。また、有望視されているトリガイの種苗生産技術の確立を目指します。

## 7 内湾漁場環境評価・改善手法開発事業

1, 171

諫早湾や大村湾などの内湾域では、貧酸素水塊が発生するなどして漁獲の減少を引き起こしています。このため内湾域の漁場環境を調査（評価）するとともに、漁場環境改善手法の開発に取り組んでいます。

## 8 温暖化に対応した藻類増養殖技術開発（新規）

373

温暖化による藻場や有用海藻への影響を調査し、温暖化に対応した藻場造成技術の開発及び有用海藻の増殖技術の改良・開発に取り組めます。

## 9 養殖魚疾病総合対策事業

767

魚病は養殖経営の存続にかかわる被害をもたらす重要な問題であるため、魚病対策技術の開発を行うとともに魚病診断や情報収集・伝達体制の整備等を行い、技術開発から指導・普及まで一貫した体制の構築に取り組んでいます。

## 10 養殖安定化技術開発試験

477

魚類養殖業の持続的な経営安定を図るため、マハタなど市場価値の高い新魚種の導入に向けた適正な収容密度や給餌方法等の養殖技術開発を行っています。

## 11 水産物流通加工技術強化支援事業

358

加工技術相談や施設の開放等による業界の技術の高度化・地域産品の品質向上、自主管理体制の確立支援及び鮮度保持などの流通技術の支援に取り組んでいます。

## 連携プロジェクトの取組み

複数の県研究機関が連携し、大学や企業等と共同で行う「連携プロジェクト研究」は、本県産魚を多目的に利用するための研究で、機能性を持った味噌様発酵食品を開発する「長崎県産魚を原料とした機能性醗酵食品（さかな味噌）の開発」と、イカ肉のねり製品化技術を実用化するため、イカ肉冷凍すり身を開発する「イカ肉の高度有効利用に関する研究」に取り組んでいます。

## 西海区水産研究所及び長崎大学との連携

当試験場に隣接する「独立行政法人水産総

合研究センター西海区水産研究所」及び「長崎大学環東シナ海海洋環境資源研究センター」と連携して試験研究の進展を促進するため、施設一般公開、意見交換会、各種会議の協賛・後援等に取り組んでいます。今後も、本格的な連携強化を図り、水産技術の開発に取り組んでまいります。

## おわりに

「開かれた試験場」として、水産業に直結し役立つ試験研究を推進してまいりますので、皆様のご意見、ご要望がありましたら、最寄りの水産業普及指導センターか、直接、当試験場までご連絡いただきますようお願いいたします。

(企画開発推進室 上利 貴光)

## 【総合水産試験場の連絡先】

企画開発推進室

電話095(850)6294

○お知らせ

総合水産試験場ホームページ

<http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

携帯サイト

(水温情報、九州水温日報、赤潮情報、ノリ養殖情報等)

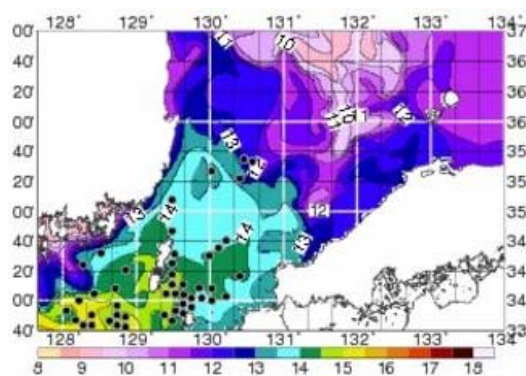
<http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/mobile/>



総合水産試験場全景



総合水産試験場ホームページ



携帯サイト：携帯九州水温日報